

第36・37号 合併号

○発行日：令和4年1月12日(水)
○発行：東京都合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内
電話：03-6457-3315
FAX：03-6457-3317
e-mail：info@tokyo-aikido.com
https://www.tokyo-aikido.com/
発行人：藤城 清次郎
編集責任者：小林 正明

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



理事長挨拶	2
第三十七回評議員会	2
第五十八回全日本合気道演武大会	2
令和三年度東京都合気道錬成大会	3
第九回全国合気道指導者研修会	3
令和三年度東京都合気道連盟初心者指導法講習会	4
主要行事予定	4

生涯スポーツ功労者・生涯スポーツ優良団体表彰を受けて	5
新規加盟団体紹介	6
加盟団体紹介	7~8
加盟団体今年の抱負	8~9
年男・年女今年の抱負	9
編集後記	9
第三十七回評議員会資料	10~11

年頭の挨拶



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は会員・役員の皆様には東京都合気道連盟の活動、運営にご協力、ご尽力を賜り改めて厚く御礼を申し上げます。

皆様と共に佳き新年を迎えることが出来嬉しく思います。これも偏に合気道道主 植芝守央先生はじめ本部道場指導部の諸先生方、多くの皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

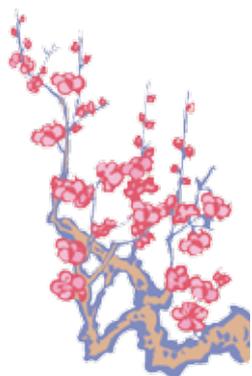
昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染症に振り回された一年でした。昨年九月三十日をもって緊急事態が全面解除され、感染者数は減少傾向にあります。又々、オミクロン株が出現し感染拡大が危惧されます。お互い感染予防に努めましょう。

さて、昨年四月十日の「第三十七回評議員会」が前回同様書面決議となり、五月一日に予定した「東京都合気道演武大会」は中止を余儀なくされました。しかし六月十二

日には厳しい制限下、本部道場指導部藤巻宏師範、助講に有馬隼人指導員をお招きして「東京都合気道錬成大会」が開催され、七月二十五日には本部道場指導部鈴木俊雄師範、里館潤指導員にご指導いただき、「令和三年度初心者指導法講習会」が開催出来たことは意義あることだったと思います。感染者を出さず如何に行事を行うかの試金石になったと思います。この先も、その時の状況下で出来る最良の選択を行っていきたくと思っております。

一昨年からのコロナ禍で多くの道場、団体の皆様にご苦勞されていることとおもいます。お困りのことがありましたらご相談を頂きたいと思っております。

さて、今年は三年に一度の役員改選の年にあたり、現在の役員の任期が三月末で終了、四月には新役員選出となります。評議員会に向けて評議員の皆様には改めて協力宜しくお願い申し上げます。一日も早く平穏な日々に戻れます事を祈念いたすと共に東京都合気道連盟への支援、ご指導、ご協力をお願い致します。年頭のご挨拶とさせていただきます。



東京都合気道連盟第三十七回評議員会

東京都合気道連盟第三十七回評議員会は、昨年四月十日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため前年に引き続き書面による開催となった。今回も書面による資料の郵送、メールによる質疑応答、書面による賛否の議決の形で行われた。

評議員会資料では加盟団体百七十団体と報告されていたが、三月末日付けで三団体が脱退し百六十七名の評議員による議決となった。令和二年度事業報告の中での新規加

第五十八回全日本合気道演武大会

昨年五月十五日、第五十八回全日本合気道演武大会が高崎市高崎アリーナで開催された。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から演武は個人演武のみを行う事となり、会場には演武参加者及び大会関係者のみ参加、規模を縮小しての開催となった。最大限の感染予防の措置が執られ、広いアリーナに僅か二百人足らずの演武者であった。私、藤城も大会参加として二階観覧席から大会を拝見した。

正午より国歌斉唱の後、可児晋(公財)合



盟一団体、脱退五団体と合わせ、各加盟団体の新型コロナウイルスによる苦しい運営が感じられる事となった。

議案は令和二年度事業報告案、令和二年度収支決算案、令和三年度事業計画案、令和三年度収支予算案、規約の一部改正案のいずれもが評議員の議決により承認された。(記・大田)

評議員会資料は、10頁、11頁に掲載

気会理事の開会の辞が述べられた。

続いて大会会長の植芝守央合気道道主が主催者挨拶をされた。ご来賓として参議院議員・元国務大臣・(公財)日本武道館常任理事・山谷えり子(公財)合気会理事、福岡賢治高崎市長とご挨拶が続いた。

大会は二部に分かれ第一部で本部道場指導部師範・指導員演武、指導者演武、師範演武。一部の最後に植芝充央道場長の演武が披露された。十分間の休憩後第二部が開始。委託指導者、指導者演武が披露され、この二部に於いて東京都合気道連盟推薦の合気道吾勝会、吉塚聡五段が出場し立派に東京都合気道連盟代表としての重責を担って戴いた。感謝申し上げます。二部では師範演武、高段者の自由演武と続き、大会の締め括りとして合気道植芝守央道主が総合演武をご披露された。

最後に林典夫(公財)合気会常務理事より閉会の辞が述べられ閉会となりました。

(記・藤城)

令和三年度 東京都合気道錬成大会

昨年四月二十三日から続く緊急事態宣言が六月二十日まで延長される中、五月三十一日以降は都内の武道館等、スポーツ施設の利用が認められる状況になりました。これを受け、東京都合気道連盟として少しでもやれることをやるうとの観点で、令和二年度は中止となった東京都合気道錬成大会が行われることとなりました。施設利用上の人数制限等、種々の制約がありました。緊急事態宣言下において新型コロナウイルス感染防止を厳格に行いつつ如何に錬成講習を行うか、本部道場と相談しながら入念に計画を練り上げました。

こうして東京都合気道連盟主催による令和三年度東京都合気道錬成大会が、六月十二日(土)東京武道館(足立区)第一武道場にて開催されました。新型コロナウイルスの影響で令和元年度以来、二年ぶりとなり、新型コロナウイルス感染拡大の防止、関係者の安全確保の観点から人数制限・マスク着用・体調確認・アルコール手指消毒・三密回避など感染予防対策を講じて開催しました。

講師に藤巻 宏本部道場指導部師範、助講に有馬 隼人本部道場指導部指導員を招き、



十三団体二十八名が参加しました。

藤巻清次郎連盟理事長から開会挨拶と藤巻師範、有馬指導員の紹介があり、藤巻師範の挨拶の後、準備運動が行われ、十三時三十分から二時間の講習会が行われました。講習会は前半・後半と一時間単位の二部構成で行い、参加者氏名を記録し、それぞれの時間内は稽古相手を交替せず、また稽古中はマスクを着用しての稽古です。

藤巻師範は、送り足・継ぎ足歩み足などの足捌き、入り身による相手と自身の位置関係の重要性、相半身・逆半身に構えからの体裁きを中心に一つ一つ丁寧に説明を加えて指導されました。

また、非接触稽古(単独動作)と相對稽古を組み合わせるなど参加者が密集する状況を減らし、休憩時間を適宜設け、アルコール手指消毒や水分補給など感染症対策と熱中症対策を講じられました。(記・大橋)



第九回全国合気道指導者研修会

第九回全国合気道指導者研修会(国庫補助対象事業)が昨年十一月五日(金)～十一月七日(日)の二泊三日で千葉県勝浦市の日本武道館研修センターにて開催されました。

この研修会は、合気道を指導する中、高校の教員、保健体育指導者に対し合気道指導法の実技、講義を行い、学校における合気道の指導充実を目的としています。研修会には、現在合気道授業を行っている、これから授業の導入を考えている保健体育科教員が参加され、同時に各都道府県の代表者も参加し都道府県における活動の報告がなされました。

一昨年は、新型コロナウイルス感染により中止となり二年ぶりの開催となります。開催とはいえ、感染予防を徹底するため従来三、四名収容されていた部屋に一名の宿泊に限定し、参加人員も二十五名に絞られました。小生藤巻も都連を代表し参加いたしました。

一日目は、午後二時から開講式があり、(公財)合気会理事長として植芝守央道主がご挨拶をされ、続いて(公財)日本武道館吉川英夫事務局局長のご挨拶を頂き研修会がスタートしました。初めに植芝充央道場長の講義・稽古があり、休憩後本部道場指導



部金沢威師範による「感染予防を考慮した指導方法のテーマで講義がありました。

二日目は、午前九時から「中学校指導法講習①②」(講師・梅津翔本部道場指導部指導員)と「全国指導者研修①」(講師・尾崎响全日本合気道連盟理事長及び森智洋本部道場指導部師範)の二手に別れ午前一杯研修が行われた。「全国指導者研修①」では、都道府県代表が四ブロックに別れ「時代」に即した指導者像のテーマでフリートーキング、その後ブロック別に発表があり、我々東京、富山、新潟のブロックは東京が発表者となりました。昼食を挟んで午後一時三十分から、前川直也、立木幸敏両講師による「子ども」のやる気を高める指導方法を考える「スポーツ心理学の知見から」のテーマで講義がありました。三十分の休憩の後、「中学校武道必修化指導書」のDVDを視聴、その後四時から講師金沢威本部道場指導部師範による「中学校指導法講習③」が午後五時三十分まで行われ二日目終了しました。

三日目は午前九時から講師林典夫合気会常務理事による「全国指導者研修②」があり、十時から閉講式が執り行われ、三日間に亘る研修会が終了しました。(記・藤巻)

令和三年度 東京都合気道連盟初心者指導法講習会

東京都合気道連盟主催による令和三年度第四回東京都合気道連盟初心者指導法講習会が七月二十五日(日)、講師に鈴木俊雄本部長指導部師範、助講に里館潤本部長指導部指導部師範をお招きし、一般財団法人港区体育協会、港区合気道連盟協力の下、港区スポーツセンター武道場にて開催され、一九団体四五名が参加しました。

開会式は、東京都合気道連盟 神谷正一副理事長司会の下、藤城清次郎理事長より、「東京オリンピックがスタートした。まだ残念ながら新型コロナウイルスの収束が見えないなか、開催の可否について迷ったものの、十二分に対策を講じて人数も大幅に制限の下で開催可能と判断。また素晴らしい会場を提供してくださった港区体育協会、港区合気道連盟、港区合気会の協力により開催の運びとなった」と主催者挨拶があった。続いて、司会から港区合気道連盟・関根史郎会長、港区合気道連盟・数家誠司理事長、鈴木師範、里館指導員の紹介があり、鈴木師範の挨拶の後、記念撮影と準備運動が行なわれ、十三時二十分から十四時五十分まで講習会が行われました。

なお、講習会は前半・後半の二部制で、参加者氏名を記録し、前半後半の稽古中は稽古相手を交替せず、稽古中はマスクを着用し、適宜休憩や水分補給、手指消毒など熱中症および感染症予防対策を講じました。鈴木師範は、指導者として身につけてほしい知識や動作確認、また鎖骨や肩鎖関節のケガが多いため、受け身を安全に出来る

よう段階的に指導することが重要として、初心者指導時の心構えの説明がなされました。後方反転受け身の指導法のほか、特に前方回転受け身のとり方について、立った状態から受け身を教えるときは、半身の状態から、出来るだけ膝を曲げ、手を足の前につけ、手で畳を押すようにして受け身の指導を行うよう丁寧に説明を加えて指導されました。また、参加者から寄せられた初心者指導法に関する質問への応答もあり、技量、体力、年齢、また合気道に求める意識がそれぞれ異なるなかで、安全に楽しむためにも、受け身のやり方や言葉のかけ方にも工夫しながら指導にあたってほしいとの説明がありました。

閉会式では、鈴木師範より、「今回の講習会では、指導法の一例を示して指導した。参考になった部分があれば今後の指導に役立ててほしい」と挨拶があり、また都連役員等関係者の多大な協力への感謝の言葉を述べられ午後三時講習会が終了しました。(記・大橋)



主要行事予定

東京都合気道連盟主催行事

令和三年度少年部指導法講習会

◇期日 令和四年二月二十七日(日)

◇場所 港区スポーツセンター

令和四年度東京都合気道錬成大会

◇期日 令和四年六月十九日(日)

◇場所 東京武道館

令和四年度東京都合気道連盟演武大会

◇期日 令和四年九月十九日(祝)

◇場所 東京武道館

(公財)合気会主催行事

令和三年度指導者候補講習会

◇期日 令和四年一月二十九日(土)～一月三十日(日)

◇場所 港区スポーツセンター

(公財)日本武道館主催行事

令和三年度地域社会武道指導者研修会

◇期日 令和四年三月五日(土)～三月六日(日)

◇場所 東京武道館

東京武道館主催行事

令和三年度第五回広域合同稽古

◇期日 令和四年一月十三日(木)

◇講師 伊藤眞本部長指導部師範

◇場所 東京武道館

令和三年度第八回広域合同稽古

◇期日 令和四年三月三日(木)

◇講師 鈴木俊雄本部長指導部師範

◇場所 東京武道館

生涯スポーツ功労者・スポーツ優良団体表彰を受けて

生涯スポーツ功労者を受けて
合気道臥龍会

代表 瀬川 一之



昨年五月、東京都体育協会から「生涯スポーツ功労者」として表彰されました。汗顔の至りです。さらに研鑽を積み重ね、と改めて深く心に刻みました。

「強くなりたい」との気持ちで、昭和四九（一九七四）年東北学院榴ヶ岡高校合気道部に入部。当時も高校の合気道部は珍しく、故半沢義巳先生（後に全東北合気道連盟理事長）に合気道の面白さ・楽しさ・痛さを教わり、勉強はそつちのけでのめり込みました。時折演武会や講習会で見えになる合気神社付帯道場の故斉藤守弘先生（九段）が、屈強な大人三人を軽々と投げ飛ばす圧倒的な破壊力と、剣杖捌きの鮮やかな技に見惚れ、憧れました。

日本大学進学と同時に合気道部に在籍

し、斉藤師範に師事。大学の先輩である稲垣繁實師範の荒稽古。道場の強い先輩方や大きな外国人弟子に揉まれ、開祖直伝の合気道は甘くないと痛感したものです。大学卒業後も仲間と稽古修行を続け、平成八（一九九六）年に合気道臥龍会を立ち上げました。愛する人・隣人、そして生きとし生けるもの全てを守る万有愛護の合気道。その合気道を、会員それぞれが処世のバックボーンとして生きて行つてほしいと願い、共に稽古しています。門下生が社会で活躍。時には頭角を現すと、指導者として望外の喜びと嬉しさを感じます。私が今日あるのは、師匠・先輩・仲間はもちろん、その家族にも恵まれたからです。七段の祝賀会るとき、全日本合気道連盟理事長の尾崎响先生が「男のロマンは女の我慢！」と喝破され、感謝を促されました。さすがが人生の達人と感服いたしました。これからも皆様の教えを守り、仲間と共に日々精進して参ります。

最後に、御推薦いただきました東京都合気道連盟理事長ほか皆様と、道友の方々に衷心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。

スポーツ優良団体表彰を受けて
品川区合気道交友会

代表 小川 高久

このたび私たち品川区合気道交友会は令

和三年六月八日に東京都体育協会より東京都合気道連盟生涯スポーツ優良団体として表彰を受けました。これも偏にご推挙賜りました東京都合気道連盟をはじめとする関係各位のお陰と存じ厚くお礼を申し上げます。

六月十五日には本部道場において、大田勤・神谷正一・鈴木俊雄各副理事長ご立会いの下、藤城清次郎理事長より賞状と記念品の盾を授与していただきました。この時に撮った写真は早速弊会のホームページに掲載させていただいております。

品川区合気道交友会は、昭和四三（一九六八）年四月一日に発足いたしました、公益財団法人合気会の公認道場です。

当初は品川区役所職員を中心として活動が始まりましたが、東京都都税事務所・第二建設事務所（の職員も加わり、その後、職員以外からも広く参加者を募るようになりました。指導は最初の二年間を飯村郁男本部道場指導部師範、その後会設立者の本橋師範が務めました。平成九年（一九九七）本橋良久師範逝去に伴い、本部道場指導部より入江嘉信師範を派遣していただいて現在に至っております。

平成三十（二〇一八）年には発足五十周年記念の講習会・演武会と祝賀会を盛大に開催することができました。

稽古は、毎週土曜日に、品川総合体育館と戸越体育館で、午前九時から初心者と白帯の方を対象とした受け身と基本技の稽古を、その後十時から一時間半、一般稽古

を行っております。また、通常稽古以外にも全日本合気道演武大会・本部道場鏡開き式・合気神社大祭・都連主催行事等に積極的に参加しております。

コロナ禍で稽古への参加者が若干減りましたが、次第に復帰される方も見え、新規の参加者も迎えて変わらず和気あいあいと稽古に励んでおります。以前より一層基本技を大切に稽古するようになりました。

一回一回の稽古のさらなる充実に努めて「生涯スポーツ優良団体」の名に恥じない活動を行っております。皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



新規加盟団体紹介

東京リバーサイド合気道会

主宰・主任指導 **岡和田 宇司**

当団体は、二〇二〇年六月に有志数名で発足いたしました。

足立区綾瀬の東京武道館を活動拠点とし、都内数か所で稽古を行っております。

所属会員の多くは本部道場でも定期的な稽古を行っている方が多く、稽古に対して非常に真摯に向き合っておられる方ばかりです。

そうした方々が稽古に参加くださるなかでも、初心者の方や子供達も一緒に真剣に充実した稽古のできる空間になるよう稽古手法・運営方法などを試行錯誤しております。

とくに都内に限らず多くの地域道場・本部道場の会員の方々と気軽に「ご参加頂けるような体制を整え、各地域道場の指導者・会員の方々と交流する機会を増やし、稽古の在り方、日常生活における稽古の実践といった事柄を視野を広く、柔軟に考えて頂けるように工夫を重ねております。

幸いにして、二〇二一年度は、八月に「合気道と日本武道文化祭二〇二一」という稽古会と武道のエキシビジョンを絡めたイベントを東京武道館で開催することができました。

しております。

今後も引き続き、こうした稽古のセッションや交流を通して、ともすると近視眼的な内容におちいつてしまう「型」稽古の本来の可能性と想像性を多くの方に伝えていくことができるよう努力してまいりたいと思っております。

また地域にお住いの方々にも合気道の稽古を体感して頂くよう新たな取り組みを二〇二三年以降は進めていく予定です。キャリアの長い経験者の方々も、これから稽古を始められる方、始められたばかりの方も稽古を深める「楽しさ」を感じられる場になれば幸いです。

公式ホームページ：<https://tokyo.aikidone.jp>

あらい道場

道場長 **荒井 政信**

この度、あらい道場を東京都合気道連盟への加盟認可して頂き、誠にありがとうございました。あらい道場は二〇二〇年十二月、あらい治療院の十坪ほどの倉庫を防音室に改造工事し、畳十五畳の稽古空間を作りました。

本部道場の基本稽古を中心として、出会い、触れ、関わり、離れ、を丁寧、静かな気持ちで稽古をする、この姿勢を大切にしながら小さな少人数道場の特性を活かして、それぞれの稽古人の昇級昇段の際には、マンツーマンのサポート指導をこころがけて

います。

言わば「合気道塾」と表しても過言ではない。かように一人ひとりに合わせた、ひとつひとつの技の研究をとことん追求していただけるのが当道場の魅力の一つです。

毎週火曜日、土曜日十八時から初心者稽古、十九時から一般稽古を行っております。

これからも、合気会本部、東京都合気道連盟のご指導のもと、あらい道場会員と共に鍛錬精進し、微力ながら、合気道の普及に貢献したいと思っております。



合気道「倫」

道場長 **三代川 喜良**

合気道「倫」は令和二年秋に十周年を迎え、令和三年に東京都合気道連盟に加盟させて頂きました。これを機に、合気会の公認道場として活動出来る事となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

八王子で子供クラスと一般クラス共に週二回の活動をし、合気道普及の一助の場であればと考えています。また、当道場は有

川師範の教えを受けたものとしてその道統の一端でも継承できればという思いで稽古をしています。

基本的に稽古は合気道の「競わない・人と比較しない」を受け実践しております。性別・年齢・体力差を超えて幅広い方々に受け入れられる武道で、技術だけでなく精神にも重きを置き、スポーツとは異なる素晴らしさを備える武道が合気道と思っております。稽古を通じ日本の文化を感じて頂ければ日々汗を流し、心身の鍛錬に励んでおります。

子供たちは姿勢と礼を第一に掲げ、その一回一回を真剣に取り組んでおります。又、審査時は、「心・技・体」を話して実行しており、いつか成長過程で理解してくれると信じ、今後も続けてまいります。「元気に明るく」を道場のモットーとして日々の稽古を行っており、子供たちはそれを実践してくれています。

一般の稽古は、倒す意識を捨て動きで崩し、崩す事に重点に置いております。年齢も経験も性別も様々ですが、人が混在しても稽古が出来るのが合気道の良さでもあります。稽古外ではコミュニティの場として楽しんでいくようです。怪我なく、しなやかにゆつくり動く事をベースに心身の鍛錬の場でありたいと願っております。

自立・自考の合気道を目指し、言葉より体での実践で自分と向き合い、一年前・前回との比較で進歩を確かめつつ稽古することの大切さを説いていきたいと思ひ、この素晴らしい合気道を一日でも永く、皆と汗を流して楽しい時を続けていけるよう、精進して参ります。

加 盟 団 体 紹 介

稲門合気道倶楽部

会 長 塚田 秀美

稲門合気倶楽部(トーマンアイキクラブ)は早稲田大学合気道会のOB・OG(約五百五十名)で構成する社会人団体です。会員相互の親睦と現役学生(約五十名)の支援を行っています。大学卒業後、合気道の稽古を継続している者も、また稽古から遠ざかっている人も誰しも月に一度は何気なく集まれる場を(リモートも含め)設けています。令和二年に六十周年記念祝賀会を開催する予定でしたが、コロナ禍の為、残念ながら中止となりました。

現役学生支援について、早稲田に限らず現在の大学生の中で二年生が最もコロナ被害を受けているようです。彼らが一年のときは大学への登校もままならず、地元で自宅からのオンライン学習に終始し、コンパも禁止。友達作りも満足にできませんでした。例年であれば全員で一致団結し汗水流して稽古に明け暮れる夏合宿、春合宿も三密を避けるべく中止となりました。このような状況で、やがて二年生が三年に進みリーダーとなり大学生活で初めて合宿を行うこととなります。

当会として、六十年を超える伝統を上手に次世代に引き継いで行つてほしいと願います。本年も学生がもっと元氣を出して合気道の稽古に打ち込み、サークル行事に活躍できるように細やかでも支援をしてゆきたいと考えています。

(写真・現役学生支援活動として学生会室にプリンターを贈呈)



N T T 東日本東京合気道部

監 督 井阪 有一

私どもN T T 東日本東京合気道部はN T Tグループの職域を中心とした部員で構成されたクラブとなります。現在は、調布にあります弊社グループの武道場において毎週火曜日十九時から二十時で活動しており、月二回、本部から小林幸光師範にお越しいただきご指導をいただいております。

当部は昭和三十七年頃の設立で、当時の合気道新聞に第一回の演武会の記事を見ることが出来ます。その後、合気会を離れた時期があったようですが、私が入部する頃には、本部から堀井悦二師範にお越しただいておりました。その後、先生が神戸

に道場をもたれるということで、小林先生に引き継いでいただき今日に至っております。

職域を中心としたクラブではありませんが、一般の方も門戸を開いております。お近くで稽古をされたい方は是非いらしてください。我が部では、何より基本技を大切に、受身は丁寧に取り組むことに重点をおいて稽古しております。部には八十歳を超える方もおられますが、元気に稽古されております。

コロナ禍でしばらくは稽古を中断しておりましたが、十月より稽古を再開いたしました。当初は長く稽古できなかった状態からの開始でしたので、部員の体が動くか心配しておりましたが、最近では昔のように動けるようになってきたと感じております。ワクチン接種が進み、感染者の減少傾向がみられ、安心材料は増えているものの、まだまだ、マスク、うがい、手洗いの「基本」が大切であると感じております。



三菱合気道部

部 長 高野 清一

当部は昭和三十七年に創部、その名の通り、三菱グループ各社合同の合気道部です。部員は夫々所属企業の事情により国内外等への転勤者も出ますが、夫々の地で稽古を続けて居り、現在大阪、湘南、長野に支部を設け、部員は百名に垂んとして居ります。

道場はJR巢鴨駅のほど近い三菱養和会「思斉館」にあります。稽古は週三回(月曜朝、火・木曜夜)行い、毎月一回本部道場大澤勇人師範をお招きしご指導を受けています。

一昨年二〇二〇年はコロナの感染拡大のため二月末から活動を休止しました。六月に入り状況が改善したことから稽古を再開。事前の健康チェック、入館時の検温、手の消毒、道場の換気、マスクの着用などの対応した上で、距離をとって一人稽古(受け身、体捌き)から始め、杖を使つての非接触の稽古、秋頃には相手を変えずに体術と段階的に通常の稽古に戻してきました。(残念ながら稽古後恒例の飲食は再開できませんでした。)

昨年二〇二一年はオリンピック前一カ月ほど休止はありましたが活動を継続できています。とはいえ稽古への参加は各自の判断となっており、稽古をしている者、控えている者様々です。マスクなしで部員の顔を見ながら稽古する日を待ち遠しく思つて居ります。

今年二〇二二年は当部創立六十周年にあたります。本来ならこれまで次ページへ

前ページから通り五年毎に行つて居ります記念演武会を開くところですが準備も含め見合わせとなつて居ります。止まない雨はないという例えもあるように、来る日に向け不自由な状況でも最善を尽くし日々稽古に勤しんで居ります。



◇合気道北千住道場

今年も怪我の無い様に、楽しく稽古をする。

◇東京消防庁合気道部会

私たち消防、「火事と喧嘩は江戸の華」の逆意味を込めて、火消しが華々しく活躍することなく社会安全を祈願し、冷静、温厚、人とぶつかり合わない合気道家らしい「体捌きの姿勢」を、今年も貫きます。

◇合気道木下道場

この二年間十分に稽古ができなかつた分二〇二二年は思う存分稽古をしたいと思ひます。そしてコロナ終息、世界平和を祈念し、世界中の合気道稽古人と再び稽古したいと思ひます。

◇合気道土井道場

基本を大切に稽古に励みます。

◇合気道進藤道場

今年も稽古に精進して参りたいと存じます。生徒一同、今年も稽古に精進して参ります。

◇品川区合気道交友会

初心者クラスと一般稽古の二部体制をさらに充実させて、新規会員の定着を図り、会員相互の切磋琢磨を通して合気道の楽しさを存分に味わいたいと思ひます。恒例の合稽稽古が再開できることを期待しています。

◇都庁合気道部

あけましておめでとうございます。五十八年間「たゆまぬ稽古」と「和気あいあい」をモットーに活動を続けてきました。このコロナ禍稽古を自粛していましたが、今年は一室に会した稽古再開に向け工夫していきたいと思ひます。

◇稲門合気倶楽部

今年も元気に活動します。見える世界、見えない世界の動きを感じて、道場の小まめな換気、マスク着用、手指の消毒に注意して稽古を継続します。

◇習錬館

昨年はコロナ対策を意識し稽古時間短縮、行事開催の見送り等の対策の下稽古しました。国内の感染者数は落ち着いてきましたが気を緩めず、本年は病気に対する健康を気遣い互いの上達を意識した丁寧な稽古を心掛けます。

◇杉並合気会

杉並合気会は、一九八九年四月に創立され「和」を尊び「楽しく、明るく、仲良く、健康に」をモットーに稽古する合気道団体です。土・日・祝日の稽古のほか、毎年杉並区主催の大会で「合気道演武大会」を開催しています。新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、より充実した稽古を目指します。

◇合気道泰門会

今年度は、感染症対策に留意しつつ連盟行

事が開催され、各団体の交流がより良く出来ればと切に願っています。積極的参加させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。

◇合気道本所道場

令和三年はコロナ禍の中、呼吸法・剣、杖の稽古が中心となりました。今年基本を大切に、心身の鍛錬に励みたいと思ひます。

◇JR東日本合気道部

今年、なによりも感染予防を第一に考えながら、無理のない稽古を目指していきます。今までコロナ禍で稽古できず鈍った技と身体を徐々に取り戻しながら、今後の稽古の在り方を模索していきたいと思ひます。

◇日本歯科大学OB教職員合気道部

新年あけましておめでとうございます。我が道場は大学道場をお借りしており、コロナ感染者治療対応の為にまだ立ち入り禁止のため稽古再開のめどは立っておりません。再開の折には各人、初心に戻り精進してまいります。

◇大塚道場明道館

今年も、世の中には、色々なことが起こるのかも知れませんが、本部道場のご指導の下、端然と稽古を続けたいと思ひます。

◇鍛守道場

今年も、今年にふさわしい充実した稽古が出来ればと思っております。コロナ禍で約二年間満足な稽古を行うことが出来ませんでした。心を新たに合気道の道と心を求めて

参ります。宜しくご指導の程お願い申し上げます。

◆青山会

今年目標は『考える受け身』です。様々な変化を想定し、受け身を取りながら同時に自分の腹筋、背筋を鍛えられるよう日頃意識し、結果として反射的に『考える受け身』を取れることを、今年目標とします。

◆鷹の台合気道同友会

長引くコロナ禍にあつても、これまで稽古出来たことに感謝しつつ、今年も地道に稽古を続けて参ります。今年こそ、諸行事の再開と道友の皆様との再会を期待しています。

◆多摩川合気道会

約二年、コロナの影響で公共施設の利用が制限され、一部の会場では稽古ができませんでした。今年はずべての道場で稽古ができるようになりました。稽古ができる日常に感謝し、初心にかえり稽古を続けていきたいと思えます。

◆合気道石苴塾 麹町合気会

十一月に一年八ヶ月ぶりに稽古再開しました。久々の再会と稽古にメンバーからは笑顔が溢れていました。体調面に気をつけながら、稽古が継続できることを祈ります。

◆港区合気会

この二年間、緊急事態宣言に伴う施設の閉館や時短営業もあり、また、会社などで稽古の参加を禁止されている会員たちも多く、なかなか満足のゆく稽古ができなかったのですが、短時間、少人数でも稽古を続けられたことに感謝しています。

◆葛飾合気会

明けましておめでとうございます。葛飾合気会も新しい年を迎え、コロナ禍により稽古を見合わせていた会員からの稽古再開の声に寄せられるなど、従来の会の姿に戻りゆく年となる気配が感じられます。本年も宜しくお願い申し上げます。

◆荒川合気会

令和四年の荒川合気会の抱負はコロナ禍で稽古が出来なかつた会員が安心して戻れる環境づくりです。感染症対策を十分に行い、安心できる環境の中、稽古を愉快に、楽しく行い、怪我無く一年を過ごしたいと思えます。

◆合気道新川塾

コロナ禍の中、回復を祈りながら関連団体の皆様との交流が再開することを願っています。

◆合気道臥龍会

コロナに負けず、基本に忠実に正しい形を意識して稽古を一年間続けて参ります。この様なご時世だからこそ、怪我にも感染にも十二分に注意をして、楽しく面白い充実した稽古のできる道場を目指します。

【 訃 報 】

宇宙の会会長
港区合気道連盟 名誉会長

神田 昌邦 師範 六段位

二〇二二年十二月二十一日永眠
(享年八十二歳)

謹んでお悔やみ申し上げます。

年男・年女今年の抱負

十二歳

土井道場 植田 奏波(女)

知らない技を覚えたい。読んだことのない本を読んでみたい。

土井道場 本庄 紗楽(女)

技の名前を言われたら、すぐにできるようにしたい。

二十四歳

合気道臥龍会 菊池 綺慧(女)

節目の年である今年は、己の合気道を見つめ直したいと思えます。基礎に重きをおいて、一つ一つの動作や理合いを正しく理解し、合気道で鍛えた体力や精神力、思考力を最大限に発揮して、公私ともに充実するよう、日々邁進して参ります。

四十八歳

土井道場 星野 太郎(男)

息子の精神修養と私の健康維持を目的に始め、数ヶ月が過ぎました。実際に技をご教

授頂き、姿勢や動き全てに意味があると身をもって知り、今年は、その動きの意味を理解し体得出来るよう稽古に励みたいと思えます。

多摩川合気道会 渡邊 富一(男)

草野球で痛めた肩のリハビリの一助となれば、と始めた合気道。右も左も体捌きも分らないから、いつか何とか必至に取り組み、早丸三年が経とうとしている本年は、茶帯取得を目指してより一層稽古に精進する次第です。

六十歳

土井道場 歌田 近宏(男)

コロナ禍による稽古・行事や大会の中止等々、残念な事が続きましたが、「禍を転じて福と為す」との言葉通りに、少しずつでも進んで行ければと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

稲門合気倶楽部 赤尾 和幸(男)

生まれ戻って新たな人生を歩んでいきます。

編集後記

この二年間にコロナに始まりコロナで終わる年でした。

皆様におかれましては、年中行事や普段の稽古の中止及び制限もたびたびあり本当に合気道にとて厳しい年でした。この広報も本当は皆様の活躍の一端でも掲載したいと思いましたが、皆様の活動が制限され今回も掲載することが叶いませんでした。

令和四年こそコロナが収束し、平穏な日常に戻り、安心して稽古ができる年になつてもらいたいものです。そして再び演武大会や講習会での皆様の活躍を記事にできることを願っています。
(記・小林)

東京都合気道連盟 第37回評議員会議事録（書面決議）

資料発送=令和3年4月9日
会議決議 =令和3年4月24日

定足数確認 評議員総数167名(定足数111名)
(資料発送後、3団体から脱退申請があり第211回理事会に於いて令和3年3月末での脱退を承認したため170団体から3団体減少)

参加評議員 125名(決議書提出)
議長委任数 42名
欠席者 0名
会議成立の有無 成立
議事録署名者 小林正明副理事長、大田勳副理事長
議事録作成者 神谷正一副理事長

今回の評議員会も、昨年度に続いて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面決議となり、会議資料が各加盟団体代表者宛に送付された。
議長は、評議員125名からの決議書提出と42名の議長委任を確認し、評議員会の成立を認めた。議事録の署名者は議長により、小林正明副理事長、大田勳副理事長が指名された。

【審議事項】

- 議案1 令和2年度事業報告
- 議案2 令和2年度収支決算
- 議案3 令和3年度事業計画
- 議案4 令和3年度収支予算
- 議案5 規約の一部改正

【審議結果】

- 議長は、議長委任数42名を賛成とした。
- 議案1 令和2年度事業報告：賛成=167票
- 議案2 令和2年度収支決算：賛成=167票
- 議案3 令和3年度事業計画：賛成=166票、否定=1票
- 議案4 令和3年度収支予算：賛成=166票、否定=1票
- 議案5 規約の一部改正：賛成=167票

以上のとおり、各議案に対して賛成票が多数となり、全議案が承認された。
議長はこれを確認して閉会し、後日、5月26日に各評議員に対し、本評議員会の審議結果について報告した。

資料2

令和2年度収支決算

東京都合気道連盟

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

収 入	支 出
前年度繰越金 3,507,113	組織加盟費 941,000
運盟会費 2,557,500	通信費 40,524
その他の収益 385,500	議会費 0
受取利息・雑収入 22	会議費 0
評議員会 0	事務・消耗品費 70,403
理事会 0	庶務交際費 0
演武大会 0	広告費 36,000
都体協助成金 200,000	事務所管理費 245,000
地域社会研修会 0	交通費 0
初心者指導法 0	支払手数料 4,484
その他 0	謝礼金等 0
少年部指導法 0	評議員会 53,592
	理事会 102,000
	演武大会 0
	地域社会研修会 0
	初心者指導法 0
	広報事業 425,120
	鎮成講習会 880
	周年行事積立金 0
	合 計 1,919,003
	収支差額 4,731,132
6,450,135	6,650,135

一般運営費収入 6,450,135

一般運営費支出 1,337,411

貸借対照表

資 産	負債及び資本
郵便貯金 1,846,182	収支差額 4,731,132
三井住友銀行 1,378,605	周年行事積立金 2,000,000
郵便振替 1,367,618	
現金 21,177	
周年行事積立金 2,000,000	
R3東京武道館使用料 97,550	
6,731,132	6,731,132

資料5

令和3年度収支予算

東京都合気道連盟

収入の部

款	科目		予 算 額		備 考
	項	目	金額	合計	
会費収入	連盟会費		2,550,000	2,550,000	
					15,000円×170団体
事業収入	講習会	練成大会(6/12)	60,000		参加費 1,500円×40名 80,000 講習会参加費 1,000円×0名
		演武会		0	子供参加費 500円×0名
		講習会			情報交換会参加費 4000円×40名
		講習会		80,000	情報交換会参加費 3,000円×0名
		講習会		80,000	講習会参加費 2,000円×40名 情報交換会参加費 3,000円×0名
補助収入	(公財)東京都体育協会 武道館助成金			12,300	演武大会助成金
			0		地域社会研修会助成金
前年度繰越金			4,731,132	4,731,132	
	合 計			7,513,432	

支出の部

東京都合気道連盟

款	科目		予 算 額		備 考	
	項	目	金額	合計		
事業費	組織加盟費	全日本合気道連盟	750,000		年会費	
		東京都体育協会	160,000		分担金・賛助金	
		東京武道館武道協議会	10,000		年会費	
	講習会	練成大会	60,000			
		大会諸費	85,600		補助対象事業	
	その他 参加事業	地域社会研修会	20,000			
		初心者指導法講習会	80,000			
		少年部指導法講習会	80,000			
		周年行事積立金	500,000			
	御見舞金	加盟団体御見舞金	1,356,000		令和2年度分	
				1,305,000		
	管理費	会議費	評議員会	100,000		
			理事会	300,000		10回実施
事務費		通信費	100,000			
		諸会費	50,000			
事務・消耗品費		事務所管理費	100,000			
		事務・交際費	245,000			
広告費		広告費	350,000			
		交通費	40,000		暑中・年賀広告	
雑費(支払手数料)		雑費	10,000			
				10,000		
予備費			3,106,832			
	予備費		3,106,832			
	合 計		7,513,432	7,513,432		

東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号 (公財)合気会内

電話 03-6457-3315

F A X 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com

<https://www.tokyo-aikido.com/>